



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月22日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 課長

(氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	15,344	△6.1	190	3.1	190	50.3	△470	—
2019年3月期	16,342	△3.6	185	△46.9	126	△60.4	△103	—

(注) 包括利益 2020年3月期 △449百万円 (—%) 2019年3月期 △131百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△220.19	—	△8.0	1.0	1.2
2019年3月期	△48.31	—	△1.7	0.8	1.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	21,892	5,665	25.9	2,649.71
2019年3月期	15,486	6,115	39.5	2,860.09

(参考) 自己資本 2020年3月期 5,665百万円 2019年3月期 6,115百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	263	1,475	△1,125	3,568
2019年3月期	439	△417	66	2,954

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点におきましては合理的に算定することが困難なため未定といたします。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	2,139,434 株	2019年3月期	2,139,434 株
② 期末自己株式数	2020年3月期	1,343 株	2019年3月期	1,164 株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	2,138,184 株	2019年3月期	2,138,413 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	13,926	△7.2	70	△10.9	106	87.9	△518	—
2019年3月期	15,003	△4.3	78	△67.9	56	△78.0	△171	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	△242.64	—
2019年3月期	△80.22	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	12,904	4,962	38.5	2,320.89
2019年3月期	14,154	5,457	38.6	2,552.08

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,962百万円 2019年3月期 5,457百万円

2. 2021年 3月期の個別業績予想(2020年 4月 1日～2021年 3月31日)

個別業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点におきましては合理的に算定することが困難なため未定といたします。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点におきましては合理的に算定することが困難なため未定といたします。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。詳細につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算説明会につきましては、参加者の皆様の健康・安全に配慮し、今回は開催を見送らせていただきます。決算補足説明資料につきましては、決算発表後、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は緩やかな回復基調であったものの、米中通商問題、英国EU離脱問題等による海外経済情勢の不安定性に加え、豪雨や大型台風等の自然災害発生、新型コロナウイルスの感染拡大等により大きな被害を受け、先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、消費者の根強い節約志向を背景として業種・業態を越えた競争が激化する一方、牛肉等の原材料価格の高騰、人手不足に伴う人件費の上昇等、コスト増加の傾向が続いており、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境の下、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」、「無添加」の商品提供を堅持するとともに、加えて、付加価値の高いメニューや「えんらく（焼肉食べ放題）」や「香港式中華バル ネイザンロード（中華）」といった新たな業態の開発、既存店舗の改装等、お客様に満足いただける店舗作りに注力してまいりました。また、働き方改革関連法案の施行に伴い、有給休暇取得の促進、長時間労働の是正等、従業員の労働環境の改善にも努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高153億44百万円（対前年同期比6.1%減）、営業利益1億90百万円（対前年同期比3.1%増）、経常利益1億90百万円（対前年同期比50.3%増）、親会社株主に帰属する当期純損失4億70百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失1億3百万円）となりました。

また、2020年2月29日付にて、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」、「donイタリアーノ（イタリアン）」のレストラン事業を展開する株式会社アークミールの全株式を取得し、完全子会社化しておりますが、当連結会計年度につきましては貸借対照表のみ連結対象として反映させております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<安楽亭業態>

安楽亭業態の当連結会計年度末の店舗数は180店舗であります。内訳は直営129店舗、暖簾13店舗、FC38店舗であります。

販売促進及び商品開発等につきましては、メルマガやLINE配信、Twitter等によるお客様へのご案内に加え、スマホアプリ（安楽亭アプリ）をリニューアルし、スタンプカードや誕生日クーポン等を充実させ、お客様とのつながりを深めるツールとして機能を拡充いたしました。また、令和改元記念の「令和！祝いのタン祭り」、「安楽亭×ハロウィン」、「祝 七五三キャンペーン」、「ヤキニクリスマス」等の季節ごとのイベントの充実やアイドルグループ「ときめき宣伝部」や映画「デジモンアドベンチャー」とのコラボフェア、テレビ朝日「10万円のできるかな」、TBSテレビ「ジョブチューン」の2番組にて安楽亭が紹介されたことを受けての「テレビで紹介された食べ放題スペシャルコース」や「TVで紹介！プロも認める合格メニュー1.5倍増量クーポン」等の企画を実施し、来店促進を図りました。

以上の結果、安楽亭業態の当連結会計年度の売上高は127億3百万円（対前年同期比6.1%減）となり、セグメント利益（営業利益）は6億99百万円（対前年同期比7.7%増）となりました。

<七輪房業態>

七輪房業態の当連結会計年度末の店舗数は29店舗であります。内訳は直営23店舗、暖簾3店舗、FC3店舗であります。

販売促進等につきましては、「おめでとう令和 松坂牛カルビ販売」、「厳選7品 50%増量」、「七輪房の日」、「七輪房ホルモン祭り」、「もつ鍋フェア」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを実施し、LINE等によるクーポン配信を行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当連結会計年度の売上高は22億53百万円（対前年同期比7.0%減）となり、セグメント利益（営業利益）は77百万円（対前年同期比32.3%減）となりました。

<その他業態>

その他業態の当連結会計年度末の店舗数は10店舗であります。内訳は直営5店舗、FC5店舗であります。

なお、その他の業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「アグリコ（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」及び新業態の「えんらく（焼肉食べ放題）」、「香港式中華バル ネイザンロード（中華）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当連結会計年度の売上高は3億88百万円（対前年同期比1.4%減）となり、セグメント損失（営業損失）は43百万円（前年同期はセグメント利益9百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ64億5百万円増加し、218億92百万円となりました。これは、株式会社アークミールを連結子会社として取得したことにより80億44百万円増加したこと、株式会社アークミール取得以外の取引として、借入金の返済等により現金及び預金が6億28百万円減少したこと及び減損損失等により有形固定資産が6億32百万円減少した等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ68億56百万円増加し、162億27百万円となりました。これは、株式会社アークミールを連結子会社として取得したことにより80億45百万円増加したこと、株式会社アークミール取得以外の取引として、返済等により借入金が8億98百万円減少したこと等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ4億50百万円減少し、56億65百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純損失の計上等が要因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より、6億13百万円増加し、35億68百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失の計上3億1百万円、減価償却費の計上5億50百万円、減損損失の計上5億70百万円等により2億63百万円の収入となりました。前年同期と比べ1億75百万円(対前年同期比40.0%)の収入の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出96百万円、有形固定資産の売却による収入1億4百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入12億42百万円、敷金及び保証金の回収による収入3億81百万円等により14億75百万円の収入となりました。前年同期は4億17百万円の支出でありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1億80百万円、長期借入金の返済による支出10億78百万円、割賦債務の返済による支出2億12百万円等により11億25百万円の支出となりました。前年同期は66百万円の収入でありました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	43.2	41.1	40.4	39.5	25.9
時価ベースの自己資本比率(%)	68.1	65.7	64.5	67.6	45.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	7.7	7.6	4.7	14.3	39.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	7.3	9.2	17.3	6.6	7.7

(注) 1. 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

4. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。

有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の中、終息の兆しが見えず、先行きは不安定な状況にあります。

当社グループにおきましては、緊急事態宣言の発令を受け、営業時間の短縮の措置を行う等、厳しい経営環境にあります。新型コロナウイルス感染症の影響を現時点で合理的に算定することが困難であるため、次期の業績予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。業績予想につきましては、今後開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,955,696	3,573,998
受取手形及び売掛金	421,191	678,520
商品及び製品	127,219	146,388
仕掛品	956	1,309
原材料及び貯蔵品	601,611	884,147
前払費用	203,354	441,901
その他	53,918	299,610
貸倒引当金	△5,098	△4,907
流動資産合計	4,358,850	6,020,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,510,990	19,042,309
減価償却累計額	△7,813,654	△15,231,985
建物及び構築物(純額)	2,697,335	3,810,324
機械装置及び運搬具	316,698	367,061
減価償却累計額	△221,217	△296,112
機械装置及び運搬具(純額)	95,480	70,948
工具、器具及び備品	2,680,171	4,686,701
減価償却累計額	△2,378,885	△4,271,951
工具、器具及び備品(純額)	301,286	414,749
土地	5,003,923	6,290,349
リース資産	223,277	1,176,659
減価償却累計額	△207,064	△981,556
リース資産(純額)	16,213	195,102
建設仮勘定	221,222	68,986
有形固定資産合計	8,335,463	10,850,461
無形固定資産		
のれん	32,011	69,876
その他	129,669	427,869
無形固定資産合計	161,681	497,745
投資その他の資産		
投資有価証券	64,728	134,525
長期貸付金	5,896	10,828
長期前払費用	19,601	377,845
繰延税金資産	153,809	309,336
敷金及び保証金	2,376,896	3,683,310
その他	35,833	34,555
貸倒引当金	△26,048	△26,996
投資その他の資産合計	2,630,717	4,523,405
固定資産合計	11,127,862	15,871,612
資産合計	15,486,712	21,892,581

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	568,482	1,062,389
短期借入金	1,060,713	2,522,572
リース債務	15,109	105,156
割賦未払金	186,788	252,521
未払金	185,517	545,971
設備関係未払金	129,826	54,566
未払費用	475,777	1,006,168
未払法人税等	122,484	156,861
未払消費税等	119,535	393,306
賞与引当金	71,000	161,175
転貸損失引当金	13,297	13,297
店舗閉鎖損失引当金	—	41,899
資産除去債務	—	15,058
その他	567,107	578,985
流動負債合計	3,515,639	6,909,929
固定負債		
長期借入金	4,503,555	6,766,030
リース債務	1,534	198,919
長期割賦未払金	519,189	796,907
繰延税金負債	104,751	103,715
役員退職慰労引当金	368,569	349,335
転貸損失引当金	36,133	22,836
退職給付に係る負債	223,167	568,243
資産除去債務	—	378,721
その他	98,534	132,625
固定負債合計	5,855,436	9,317,335
負債合計	9,371,076	16,227,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,472,098	2,472,098
利益剰余金	495,853	25,054
自己株式	△6,704	△7,601
株主資本合計	6,143,632	5,671,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,611	△5,043
為替換算調整勘定	△384	△1,576
その他の包括利益累計額合計	△27,995	△6,619
純資産合計	6,115,636	5,665,316
負債純資産合計	15,486,712	21,892,581

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	16,342,314	15,344,516
売上原価	5,930,987	5,580,575
売上総利益	10,411,327	9,763,940
販売費及び一般管理費	10,226,304	9,573,247
営業利益	185,022	190,692
営業外収益		
受取利息	1,752	1,721
受取配当金	1,944	2,053
受取地代家賃	7,225	6,300
貸倒引当金戻入額	—	436
その他	40,485	31,775
営業外収益合計	51,408	42,286
営業外費用		
支払利息	66,886	34,530
為替差損	34	391
賃貸収入原価	5,832	5,823
貸倒引当金繰入額	4,631	—
支払手数料	28,550	—
その他	3,592	1,534
営業外費用合計	109,526	42,279
経常利益	126,904	190,700
特別利益		
固定資産売却益	635	18,611
受取保険金	10,087	53,351
受取補償金	—	125,000
特別利益合計	10,723	196,962
特別損失		
固定資産除却損	12,186	14,566
固定資産圧縮損	—	50,185
投資有価証券評価損	—	39,926
減損損失	99,233	570,138
賃貸借契約解約損	1,556	12,235
訴訟和解金	3,287	—
災害による損失	—	2,481
特別損失合計	116,263	689,534
税金等調整前当期純利益	21,363	△301,871
法人税、住民税及び事業税	135,604	164,627
法人税等調整額	△10,934	4,299
法人税等合計	124,669	168,926
当期純損失(△)	△103,306	△470,798
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△103,306	△470,798

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純損失(△)	△103,306	△470,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,820	22,568
為替換算調整勘定	△241	△1,192
その他の包括利益合計	△28,062	21,376
包括利益	△131,368	△449,422
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△131,368	△449,422

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,182,385	2,537,261	599,159	△70,998	6,247,807
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△103,306		△103,306
自己株式の取得				△869	△869
自己株式の消却		△65,163		65,163	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△65,163	△103,306	64,293	△104,175
当期末残高	3,182,385	2,472,098	495,853	△6,704	6,143,632

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	209	—	209	6,248,017
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△103,306
自己株式の取得				△869
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△27,820	△384	△28,205	△28,205
当期変動額合計	△27,820	△384	△28,205	△132,380
当期末残高	△27,611	△384	△27,995	6,115,636

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,182,385	2,472,098	495,853	△6,704	6,143,632
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△470,798		△470,798
自己株式の取得				△897	△897
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△470,798	△897	△471,696
当期末残高	3,182,385	2,472,098	25,054	△7,601	5,671,936

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△27,611	△384	△27,995	6,115,636
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△470,798
自己株式の取得				△897
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	22,568	△1,192	21,376	21,376
当期変動額合計	22,568	△1,192	21,376	△450,319
当期末残高	△5,043	△1,576	△6,619	5,665,316

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	21,363	△301,871
減価償却費	601,301	550,889
減損損失	99,233	570,138
のれん償却額	13,615	23,679
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,631	△436
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,800	△11,100
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	17,087	△19,234
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△13,297	△13,297
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,519	△4,962
受取利息及び受取配当金	△3,697	△3,774
支払利息	66,886	34,530
為替差損益 (△は益)	34	391
固定資産売却損益 (△は益)	△635	△18,611
受取保険金	△10,087	△53,351
受取補償金	—	△125,000
固定資産除却損	12,186	14,566
固定資産圧縮損	—	50,185
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	39,926
賃貸借契約解約損	1,556	12,235
訴訟和解金	3,287	—
災害による損失	—	2,481
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,417	51,720
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△118,694	△189,543
前渡金の増減額 (△は増加)	△3,009	2,416
仕入債務の増減額 (△は減少)	△57,009	△54,220
未払金の増減額 (△は減少)	14,649	4,388
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△14,558	2,203
未払費用の増減額 (△は減少)	△26,648	△52,673
預り金の増減額 (△は減少)	△1,112	△9,671
前受収益の増減額 (△は減少)	△50,197	△10,657
その他	47,593	△165,647
小計	606,782	325,698
利息及び配当金の受取額	2,117	2,432
利息の支払額	△66,981	△34,252
保険金の受取額	60,272	3,166
補償金の受取額	—	125,000
店舗閉鎖に伴う支払額	△4,478	△7,835
訴訟和解金の支払額	△3,287	—
災害による損失の支払額	—	△2,481
法人税等の支払額	△154,536	△147,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	439,889	263,993

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△417,783	△96,070
有形固定資産の売却による収入	1,562	104,162
無形固定資産の取得による支出	△36,160	△38,594
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	1,242,004
事業譲受による支出	—	△76,000
敷金及び保証金の差入による支出	△8,400	△43,375
敷金及び保証金の回収による収入	47,086	381,882
預り保証金の返還による支出	△5,000	△8,049
預り保証金の受入による収入	5,000	21,500
貸付けによる支出	—	△5,800
貸付金の回収による収入	487	520
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△4,327	△6,384
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417,534	1,475,796
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,078,520	180,000
長期借入金の返済による支出	△3,783,867	△1,078,703
割賦債務の返済による支出	△189,270	△212,029
リース債務の返済による支出	△37,644	△13,990
自己株式の取得による支出	△869	△897
財務活動によるキャッシュ・フロー	66,868	△1,125,620
現金及び現金同等物に係る換算差額	△332	△730
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	88,891	613,439
現金及び現金同等物の期首残高	2,864,532	2,954,680
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	1,256	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,954,680	3,568,119

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言が発令された影響で、来店客数の減少や営業時間の短縮により、売上の減少が生じており、次期の業績への影響が見込まれます。また、今後の収束時期や影響の程度を正確に予測することは極めて困難な状況であります。

そのため、固定資産に関する減損損失の認識要否の判断及び測定、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りについては、当連結会計年度末時点で入手可能な情報に基づき、上期中は現在の状況が続くものの下期には収束しているとの仮定により算定しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはレストラン事業における焼肉レストランを主要事業として、ブランドごとの包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは焼肉レストランの主要業態「安楽亭業態」、「七輪房業態」及び「その他業態」の3つを報告セグメントとしております。また、2020年2月29日付で株式会社アークミールを連結子会社として取得したことに伴い、報告セグメントに「アークミール」を加えております。なお、当連結会計年度におきましては、貸借対照表のみ連結しております。

「安楽亭業態」は、郊外型で開放的な空間での焼肉をリーズナブルな価格で提供しております。「七輪房業態」は、焼肉部門第二の核として「安楽亭業態」より客単価の高い設定で、個室を多く配置し、落ち着いた空間での食事を提供しております。「その他業態」は、「からくに屋(焼肉)」、「国産牛カルビ本舗安楽亭(焼肉)」、「花炎亭(焼肉)」、「春秋亭(和食)」、「上海菜館(中華)」、「アグリコ(イタリアン)」、「カフェビーンズ(喫茶)」及び新業態の「えんらく(焼肉食べ放題)」、「香港式中華バル(中華)」を含んでおります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	13,526,060	2,422,309	393,945	16,342,314	16,342,314	—	16,342,314
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,526,060	2,422,309	393,945	16,342,314	16,342,314	—	16,342,314
セグメント利益	649,473	114,100	9,991	773,564	773,564	△588,542	185,022
セグメント資産	12,905,096	1,640,852	227,629	14,773,578	14,773,578	713,133	15,486,712
その他の項目							
減価償却費	452,756	95,713	11,418	559,889	559,889	41,412	601,301
のれん償却額	7,533	2,944	3,137	13,615	13,615	—	13,615
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	349,981	33,717	13,564	397,263	397,263	26,092	423,356

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額713,133千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額26,092千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	アークミール	計			
売上高								
外部顧客への売上高	12,703,119	2,253,138	388,258	—	15,344,516	15,344,516	—	15,344,516
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	12,703,119	2,253,138	388,258	—	15,344,516	15,344,516	—	15,344,516
セグメント利益又は損失(△)	699,685	77,194	△43,149	—	733,731	733,731	△543,038	190,692
セグメント資産	11,631,166	1,295,642	261,489	8,044,560	21,232,857	21,232,857	659,724	21,892,581
その他の項目								
減価償却費	417,658	78,562	22,312	—	518,533	518,533	32,355	550,889
のれん償却額	19,667	—	3,137	—	22,804	22,804	874	23,679
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	571,366	85,405	68,574	—	725,346	725,346	17,421	742,767

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額659,724千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額17,421千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,860.09円	2,649.71円
1株当たり当期純損失(△)	△48.31円	△220.19円

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△103,306	△470,798
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△103,306	△470,798
普通株式の期中平均株式数(株)	2,138,413	2,138,184

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	6,115,636	5,665,316
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,115,636	5,665,316
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	2,138,270	2,138,091

(重要な後発事象)

該当事項はありません。